

研究者名：毛内 嘉威（美術教育センター 教授）

研究課題名：地域の課題に向き合うアウトリーチ型の道德教育プログラムを開発する実践的研究

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：令和5年度～令和8年度

【研究概要】

地方は、過疎化や後継者問題が顕著になっており、地域の存続そのものが危ぶまれている。

子供の道德性を育むための地域社会が無くなり、学校・家庭・地域社会の連携を重視した道德教育が展開できていない。これまで地域の素材を学ぶ道德教育はあったが、地域の課題に向き合い、地域を支える人材を育成しようとする道德教育は展開されてこなかった。「地域の存続」「学校・家庭・地域社会の連携」「地域を支える人材の育成」という問題を解決し、社会参画の意義や自己の生き方について考えを深める道德教育を展開するために、「アウトリーチ（手を差し伸べる）」という考えや手法を取り入れていくものである。

本研究は、地域の素材を活用し、地域の課題に向き合い解決することを通して、児童生徒がよりよい生き方を志向し、地域を支える人材を育成する探求的な学習と探究的な道德学習を組み合わせたアウトリーチ型の道德教育プログラムを開発する実践的研究である。